

IEのキャッシュクリアについて

通常、電子入札システムの作業や、インターネット閲覧など様々な操作をすることにより、IEの「キャッシュ」という情報が蓄積されていきます。

この「キャッシュ」という情報は、インターネットをする上で便利な面もありますが、電子入札システムではキャッシュが蓄積されすぎた場合に正常に動作しなくなる場合もあります。

キャッシュは定期的にクリアを行ってください。

特に、正常にページが表示されないなどの不具合がある場合は必ずキャッシュのクリアを実施してください。

この資料ではその手順について説明しています。



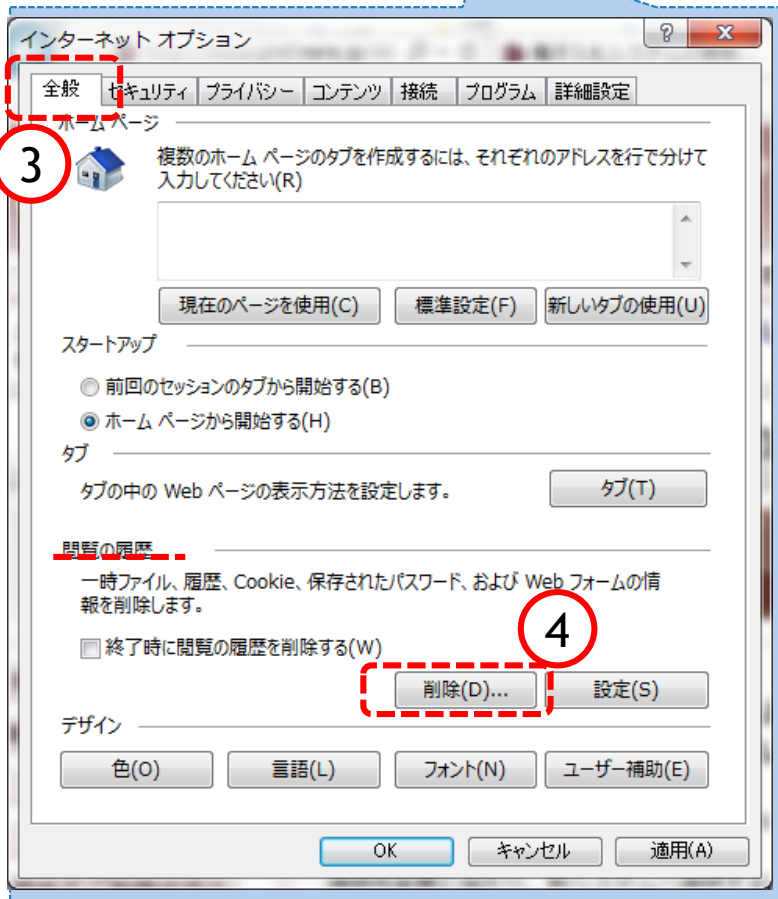
閲覧履歴の削除画面を開きます。

- ①「ツール」をクリック
- ②「インターネットオプション」をクリック
- ③「全般」タブをクリック
- ④「閲覧の履歴」のカテゴリの中の「削除」ボタンをクリック



「ツール」が画面上部に見つからない場合は？

キーボードの「ALTキー」を押しながら、アルファベットの「T」キーを一度押して下さい



閲覧の履歴の削除



5

お気に入り Web サイトデータを保持する(R)

お気に入り Web サイトの基本設定を保持したり、ページを素早く表示したりするために使用される、Cookie とインターネット一時ファイルを保持します。

インターネット一時ファイルおよび Web サイトのファイル(T)

情報をすばやく表示するために保存された Web ページ、イメージおよびメディアのコピーです。

クッキーと Web サイトデータ(O)

基本情報の保存または Web サイトのパフォーマンス向上のために Web サイトによってコンピューターに格納されたファイルまたはデータベースです。

履歴(H)

閲覧した Web サイトの一覧です。

ダウンロードの履歴(W)

ダウンロードしたファイルの一覧です。

フォーム データ(F)

フォームに入力した情報を保存したものです。

パスワード(P)

以前アクセスした Web サイトにサインインするときにパスワードが自動入力されるように、パスワード情報を格納したファイルです。

追跡防止、ActiveX フィルター、およびトラッキング拒否のデータ(K)

フィルター処理から除外される Web サイトの一覧、閲覧した情報を自動的に流出させている可能性があるサイトを検出するために追跡防止が使用するデータ、およびトラッキング拒否要求に対する例外です。

[閲覧の履歴の削除についての詳細](#)

終

削除(D)

キャンセル



⑤開いたウィンドウ（閲覧の履歴の削除）の以下の項目にチェックする

- インターネット一時ファイルおよび Web サイトのファイル
- クッキーと Web サイトデータ
- 履歴
- ダウンロードの履歴
- フォームデータ
- 追跡防止、ActiveX フィルター、およびトラッキング拒否のデータ

最後に『削除』ボタンをクリックし、削除を実行してください。

※閲覧の履歴を削除することで、互換表示設定にて追加した Web サイトが削除されます。再度、互換表示設定を実施してください。

詳しくはクライアント環境設定マニュアルをご参照ください。



この作業をした後、ログインに時間がかかりますか？

IEのキャッシュクリアを行う時に「Cookie」の削除も同時に実施しますが、この作業を行うと前回まで利用していたシステムの記憶を消すため、もう一度最初からデータの読み込みを始めます。

そのため、この作業を行った後の最初のログインにはお時間がかかる場合がございます。システムの不具合などではありませんので、しばらくお待ちください。

また、この作業によって大事なデータが紛失することはありません。